

みなと舎の広報1年間

※2022年度(2022.4～2023.3)

1. 広報誌たまごむし 年4回発行

本紙で109号になりました。メンバーさんの日常生活を中心に、ディープなみなと舎のあれやこれやを地域の皆様へむけて発信しています。みなと舎スタッフにも人気の広報誌です。



発行部数: 3,000部
配布先: ご家族、スタッフ、地域の皆さま ほか

3. みなと舎 SNS始めました

2022年9月からInstagramとFacebookをスタート！詳しくは中面の記事で紹介しています。それぞれアカウントのフォローと皆さまからのいいね！お待ちしております。



5. みなと舎 ホームページ

一番アクセスの多い「みなと舎日記」は、イベントやお出かけなどの日常を今年度は100件以上掲載しました。ほかにも、求人募集などさまざまな情報を更新しています。

サイト全体: 107,087PV
みなと舎日記: 41,295PV

アクセス数 TOP!



※2022年4月1日～2023年2月28日集計

7. みなと舎の採用活動



学校訪問実施一覧：神奈川県立保健福祉大学／国際医療福祉大学／神奈川歯科大学／神奈川衛生学園専門学校／東京墨田看護専門学校／鎌倉女子大学／鎌倉女子短期大学／横浜創英大学／横浜こども専門学校／横浜保育福祉専門学校／横浜リハビリテーション専門学校／大原学園 大原医療秘書福祉保育専門学校／岩谷学園テクノビジネス 横浜保育専門学校／湘南医療福祉専門学校／立正大学／聖ヶ丘教育福祉専門学校／田園調布学園大学／東海大学／東洋大学／鶴見大学／鶴見大学短期大学部

2. ヘルパースタッフによるヘルパー新聞の発行

ヘルパーゆう(居宅介護・重度訪問介護・移動支援)が不定期に発行。今年度は5回発行し、メンバーさんのいるんな場所へのお出かけを中心に、ほっこりシーン満載でお届けしています。

掲載先: WEBサイト内
配布先: ご家族、スタッフ、地域の皆さま ほか



4. 求人募集の広告掲載・チラシ発行

求人誌「クリエイト」「アイデム」へ、求人広告を出稿しました。ほかにも、求人募集やみなと舎の歴史などを掲載したチラシを作成し、施設周辺にポスティング配布しました。



6. 地域情報誌はまかせ新聞に広告掲載

はまかせ新聞記者がみなと舎の扉を開けて、メンバーさんを中心としたみなと舎の物語を発信しています。

発行部数: 251,000部 掲載頻度: 毎月1回掲載
配布先: 横須賀市・三浦市・逗子市・葉山町・横浜市



入職、退職数の推移

年度	入職	退職
2020年度	16名	23名
2021年度	32名	31名
2022年度	27名	19名

※2021年度は定年退職制度の改定があり、11名が定年退職

メンバーさんの事を もっともっと知ってほしいからです!

みなと舎は、なぜこんなに広報活動するの…?

それは…

どんなに重い障害があっても、みんな同じ空の下、かけがえのない人生がある。地域社会に生きる一人として、施設の中では完結しない物語があります。

2023年度 広報目標 わたしとメンバーさんが 当たり前の日常をつくる

目標に掲げる「わたし」とは、スタッフ一人ひとりのこと、ひいては地域に住む一人ひとりのことを指す。スタッフ一人ひとりが主体的に「当たり前の日常」を作り出す。地域で暮らすメンバーさんの当たり前の日常には、地域の方々が登場する。まずは、地域の方々にもみなと舎の事をもっともっと知ってもらうための情報発信を。

サービス強化! 個性豊かな人材募集

みなと舎は、離職率の高い法人ではありません。みなと舎スタッフの平均勤続年数は8.9年。みなと舎は設立25年と比較的若い法人でありながら、障害福祉業界の勤続平均7.8年を上回っています。…ではなぜ、求人募集を続けているのか。みなと舎において、サービスを強化をするという事は、メンバーさんが当たり前の日常に近づくための創意工夫をしていくという事です。みなと舎は、重度の障害がある方の施設でこんなに頻繁にお出かけするのはめずらしいと驚かれます。施設内で過ごすよりもお出かけするほうが、スタッフの人数が多く必要になります。お出かけだけでなく、当たり前の日常をつくっていくために、もっとスタッフが必要です。法人開設以来みなと舎は、メンバーさんが当たり前の日常に近づくために、事業の枝葉を広げてきました。これからも、まだまだ挑戦は続きます。



スタッフ アンケート 結果発表!

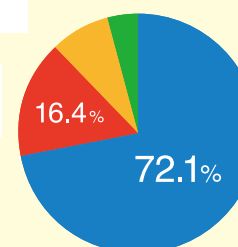
この世界はなんとなく近寄り難いイメージがあるように思います。たまごむしの着ぐるみやぬいぐるみがあったらよいのでは。

良い面ばかりでなく、頑張ったけど失敗しちゃった出来事や施設でありがちな苦労などを載せてみてはどうでしょうか。

スタッフやメンバーさんの明るい表情や雰囲気が良いと思う。穏やかに楽しく過ごしている様子が印象に残る。

みなと舎を利用している人にとって現在の様子をよく知ることができる。

みなと舎スタッフ向けに「広報について」のアンケートを昨年12月に実施し、61名の回答がありました。みなと舎「ホームページ」「SNS」、広報誌「たまごむし」、地域情報誌「はまかせ新聞」について意見を伺いました。回答の一部をご紹介します。



Q 広報誌「たまごむし」を見たことはありますか?

- 約88%がときどき見ている以上で、5人内2人高い関心があることがわかった!
- 新しいものが出る度に、毎回目を通している
- ときどき見ている
- 何度か見たことがある
- 見たことがない

詳しいアンケート結果はこちら▶



アンケートの結果も踏まえて…2023年度は、新しいみなと舎の広報がスタート! 乞うご期待!

みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.minato-yuu.or.jp>

社会福祉法人 みなと舎

検索

求人問い合わせ: 山本・森下 TEL: 046-855-3911 FAX: 046-855-3912



SSKU たまごむし

社会福祉法人「みなと舎」広報誌

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会 編集責任者 松田直
〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17
tel.046-855-3911 fax.046-855-3912



令和4年度 日本知的障害者福祉協会 「会長賞」を 飯野理事長が受賞しました

式典での受賞の様子。ゆうではメンバーさんからお祝いの色紙が贈られました。

メンバーさんありがとう!!

この度いただいた日本知的障害者福祉協会 会長賞は、メンバーさんから頂いた「賞」だと思っています。私たちの役割は、メンバーさん一人ひとりに向き合い寄り添うことです。どんなに重い障害があってもなくても、人は皆それぞれ、一度きりの人生を過ごしています。私はこれまで多くのメンバーさんと共に人生を歩んできたことで、私自身が生かされ、また

人としての『慈しみ』や『やさしさ』の大切さを 沢山教えていただきました。メンバーさんが居るから、今の私があります。50年以上に亘って、私を導き育てて下さった、メンバーさん、支えていたつもりが、実は支えられていたのは私でした。そして、一緒に歩んできた多くの皆様に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

社会福祉法人みなと舎
理事長 飯野雄彦

Congratulations!

● 飯野理事長の会長賞受賞に寄せて

● メンバー・成人のお祝い
ライフゆうラボ
ライフゆう

● ゆう
四季を楽しむゆうの活動

● ライフゆう
2022年9月5日から、FacebookとInstagramを始めました

● みなと舎の広報について
みなと舎の広報1年間
みなと舎は、なぜこんなに広報活動するの…?

109号
2023年03月

OMEDETOU!

ライフゆうラボ

祝成人

ラボでは、熊谷好美さん・佐野可那子さん・澁谷美希さんの3名が20歳を迎えました。

1月23日(月)は秋田の事業所「にのに」さんとのリモート交流の日ということもあり、この日にみんなでお祝いをしました。3人共ファンデーションで肌を整え、マスカラにアイシャドウ、リップやチークを塗って、大人っぽい仕上がりに。いつもと違う自分の雰囲気に少し緊張した表情を見せつつも、「にのに」の皆さんからの「かわいい〜」「すてき!」といった声に笑顔がこぼれました。メイクした写真や、ラボメンバーさんからのメッセージを添えた色紙もプレゼント。これからもたくさん楽しい思い出を作っていきましょう!

ライフゆうラボ支援主任 里吉めぐみ

熊谷好美さん

カメラは向こうだよー!

佐野可那子さん

澁谷美希さん

成人を迎えて

ライフゆうのみなさま、いつもありがとうございます。みなさまのお陰で無事に成人式に参加できました。本当にありがとうございます。小さいころから耳の手術や口の手術など色々乗り越えてきました。沢山の手術も頑張ってくれて今は元気で過ごしていることが嬉しいです。これからも元気でいてね!

陸空の母より

石渡陸空さん

ライフゆう

Autumn

おっきなさつまいも!

魔女に変身しました!

秋から冬の「ゆう」は季節の行事や野菜の収穫で、にぎやかな毎日です。「ハロウィン」「クリスマス」などの行事がありますが、昨年の「バナナ」に替わって、今年は「さつまいも」(シルクスイート)が豊作でした!収穫されたさつまいもで「焼き芋」づくり。メンバーさんは、煙に目を細めたり焼き加減を調整したりして、出来上がりを楽しみにされていました。「焼き芋」の香りがしてきたら出来上がり!メンバーさんやスタッフで美味しく頂きました。

ゆう支援課長 前田智美

Winter

四季を楽しむ ゆうの活動

2023年、新しい年を迎えました。スタートは書初めから、大きな筆で力強く、うさぎは優しく書きました。今年の一文字も思いを込めて真剣な表情です。ワクワクしたのは、手作りのおみくじです。「大吉!」更に「当たり!」まで引き当て嬉しそうなメンバーさん。福笑いやカルタ、お正月遊びで、お部屋に笑顔があふれました。『今年も元気に過ごせますように』

ゆう支援主任 古谷妙子

New year

2022年9月5日から、 FacebookとInstagramを始めました

メンバーさんやスタッフの日頃の活動やイベントの様子などを発信しています。みなと舎の楽しい雰囲気が伝わると思いながら投稿しています。気軽に見に来てください。そして、登録がまだの方は是非登録してください。よろしくお願いします。

ライフゆう支援課長 天野美香

Facebook



メンバーさんの日々の様子をたくさん写真付きで投稿しています!

Instagram



ドライブで南郷公園へ



ライフゆうでビアガーデン!



みなと舎の河津桜

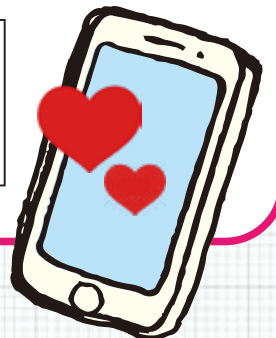


芦名のValentine's Day



ライフゆうのハッピーバレンタイン♪

#重症心身障害児者
#社会福祉法人
#福祉サービス
#神奈川県 #横須賀市 #湘南国際村



Follow us!

どちらもフォローお待ちしております♪